

8-6-3 CPD委員会

1. 主な活動の記録

(1) CPD 委員会の開催

委員会開催回数：12回

(2) 主な内容

令和2年度の委員会活動は主に、①協会会員のCPD取得支援、②CPD監査の実施と監査結果の分析、③CPDガイドラインの改定、CPD形態の追加の3点を中心に委員会活動を行った。

a) 協会会員のCPD取得支援

協会会員のCPD取得を支援するため、WEB等を活用することにより、多くの会員に利用して頂くことを目的として活動した。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により多くの集合研修が中止なり、CPD取得が困難な異常事態が続いたが、集合研修開催の問題・課題の抽出、研修開催中止やWEB開催を予定している委員会への動画WEB配信の推進、及びQ&Aの提供や支援を行い、協会HPでセミナー動画をより多く配信することにより、CPD取得機会に寄与した。

動画配信は、協会会員のニーズ、テーマの妥当性など踏まえて、昨年度8セミナーを上回る下記19セミナーを協会HP上で視聴できるようにした。

北海道支部セミナー（2セミナー）、東北支部河川専門委員会セミナー、近畿支部セミナー（特別講演①、②）、北陸支部セミナー、ICT普及専門委員会セミナー、砂防・急傾斜専門委員会セミナー、環境専門委員会セミナー、マネジメントシステム委員会セミナー、ITS専門委員会セミナー、海岸・海洋専門委員会セミナー、道路専門委員会セミナー、参加型計画専門委員会セミナー、環境配慮専門委員会セミナー、PM専門委員会セミナー、港湾専門委員会セミナー、交通・安全専門委員会セミナー、PFI専門委員会セミナー

b) CPD監査の実施と監査結果の分析

令和2年度の監査として、CPD記録登録者の

1%程度を目途に200名を対象として監査を実施した。CPD記録登録状況のうち、教育分野では、専門技術分野が75%を占めており、昨年度の78%と同程度であった。教育形態別では、昨年と同様に講習会等への出席が32%で最も多く、次いで自己学習23%、企業内研修22%、業務経験14%の順であり、昨年度と大きな変化はなかった。

監査における何らかの指摘、修正を要する総指摘数が総記録数に占める割合は12.2%であり、3年連続して概ね同等を維持している。

CPD登録システムの改善や会員の登録への習熟等により、昨年度より記録の不備が減少しており、CPD記録登録が概ね適正に行われていると判断できる。

c) CPDガイドラインの改正、CPD形態の追加

RCCMの更新登録に必要なCPD単位数の変更、教育分野分類の多様化に伴う利用者のCPD登録の適正化、及びWeb講習への対応を図るため、CPDガイドラインの改正を行った（2021年4月第7版）。また、CPD形態の技術資格の取得対象について検討を行い、対象資格を追加した。

(3) CPD記録申請等

① CPD記録申請者数

令和2年度：125,081人

令和元年度：148,058人

② CPD記録申請件数

令和2年度：404,100件

令和元年度：423,200件

③ CPD証明書発行件数

令和2年度：7,011件

令和元年度：6,848件

2. 次年度の活動について

次年度の委員会活動は主に、①協会会員のCPD取得支援、②「CPD監査」の実施と監査結果の分析及びCPD監査の効率化に向けた検討、③CPD制度、CPDシステムの定着など、主に3点を中心に委員会活動を行う。

（CPD委員会委員長 片山 善郎）